

勝央町

第111号

議会だより

平成 21年 2月 1日発行 編集/町議会広報編集委員会
発行/岡山県勝央町議会 〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 201 TEL(0868)38-3111



完成した勝間田小学校

もくじ

- ▶ 定例会審議内容 2 頁
- ▶ 一般質問 3 ~ 7 頁
- ▶ 19 年度決算認定審査報告 8 ~ 9 頁
- ▶ 陳情・請願、組合議会報告他 10 頁

第4回定例会

平成20年12月12日～19日

70歳以上の

高齢者に朗報

最近では、高齢者を中心に肺炎にかかって亡くなる人が年間8万人にも達しており、また上昇すると言われています。それは抗生物質が多用されたために抗生物質の効きにくい、肺炎球菌が増加したと言われています。

肺炎球菌ワクチンの接種を町費負担制度を設け医師会と契約して、1件6,500円(個人負担2,500円)になります。このワクチンの効果は5年間と言われますがあと5年間は効果が有ると言うことで10年間は幾分か効果があると言うことです。

我が国では1回の接種しか許可されていません。そこで、満70歳以上の人とさせていただきました。

心身障害者医療費

給付条例の一部

改正

企業立地等を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

補正予算(6件)

一般会計

7,586万6千円追加し総額を55億2,088万1千円とする。主なものは運動公園テニスコートの修繕料、70歳以上の方の肺炎予防接種補助に320万円等など。

住宅新築資金等貸付特別

会計

介護保険特別会計

公共下水道特別会計

農業集落排水特別会計

上水道会計

審議内容

専決処分

平成20年度勝央町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

人事案件(2件)

◎人権擁護委員の推選の同意

水島 武文さん

(植月北)の推選

高山美奈子さん

(勝間田)の推選

条例案件(7件)

◎町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

◎教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

◎国民健康保険条例の一部改正

◎老人医療費給付条例の一部改正

◎ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正

議会の動き

◎10月18日

森林を考える岡山県民のつどい

・出席者 5名

◎11月6日

国道429号津山・東粟倉間道路整備促進期成会

・出席者 議長

◎11月7日

岡山県町村議会議員研修会

・岡山県市町村振興センター

・出席者 7名

◎11月18・19日

美作地区議長会研修会並びに第52回町村議会議長会全国大会 東京

・出席者 議長

◎11月20日

岡山県町村議会議長会臨時総会

・出席者 議長

◎11月26・27日

津山圏域議長協議会総会及び視察研修 島根

・出席者 議長

副議長



一般質問

岡本良市議員

ファーマーズマーケットの今後の方向は

町長

県からの説明を聞く機会を設定して



問 県からの廃止の方針が打ち出され、勝央町としても今後その対応に追われることになるが、廃止の予定も残りの期間はあまりなく町として方向を決めなくてはならない。県の方向づけを詳しく聞き、地元としてその対策について十分検討をする必要があると思う。わが勝央町は内陸型工業団地としては西日本最大ともいえる勝央町工業団地の誘致に成功し、このファーマーズマーケットと共に町の目玉ともいえるもので、是非ともこのファーマーズマーケット

トの施設の存続にむけて強い姿勢で取り組んでもらいたい。

答 町長

県が財政構造改革プランを発表して施設の存廃について説明があった中に、わが町のファーマーズマーケットが廃止もしくは民間も含めての譲渡となったもので21年度中は現状のまま、その間に次の譲渡なり廃止なりを協議することになっている。

県の直接担当の農林水産部長と会見し開園以来300万人を越え、年間27万人程度の方が入園しており、閑古鳥が鳴いている状態ではないこと、岡山市内には県立の図書館などもあり市に移譲すれば県の負担も軽くなることなど訴えました。ただいまは県の方の説

したい。

人間は生まれてから最後の日を迎えるまで安全安心に包まれた一生を過ごせる幸せの基本として、生活基盤の安定が大事であるが、行政の責任分野と個人の責任でそれぞれ立場の違いもあるが、行政として過去にまなび、将来につながる展望への議論をする必要がある。

グローバル社会が進み情報通信化の中でわが町で安全安心を図るべく行政展開を行うことが大事であると思う。

福祉と教育に軸足を置いて

答 町長

安全と安心の町づくりとしての基本的な考えは児童・生徒の通学上の問題のみならず、医療福祉など行政責任者としては広範囲にいたるもので、今回予算計上しました高齢者の方の肺炎球菌の予防ワクチンの助成

制度、あるいは地震災害のときなどの避難場所としての学校建築、以前から行っており中学生15歳までの医療の無料化、また姉妹町であります小山町との相互の災害援助協定など広範囲に亘っておりますが、町是であります福祉と教育に軸足を置いた施策を心がけております。

しかし財政的に非常に厳しいおりから町税の増につなげるべく雇用の場を設けるためにも企業誘致を行うこともその一つと考えている。

安全安心の街づくりについて

問

現下の社会情勢とわが町の施策が今のままで良いか、今後もっともつと範囲を広げるつもりはないか。

町民すべてのひとの安全安心にむけての提言を



我が町のシンボル ファーマーズマーケット

福田 弘 議員

定額給付金について

町長 実施主体は市町村



問 町長は給付金についてどのような感想や意見をお持ちか。

町の窓口はどこでどのように給付されるのか。また、人数等町内に給付される金額はいくらになるか。

答 町長 当初定額減税だとか、いろんなことを言われていたが、消費の拡大、景気対策としては定額給付金に落ち着いたと思っている。

この実施主体は市町村、対象者は住民基本台帳に記載されている者、及び永住外国人等であり、市町村がこの給付金申請主体となっている。また、住民基本台帳に登録者は11,418人、外国永住者17人で総支給額は1億77,572,000円の予定です。

広域ゴミ処理場建設について

問 次々と計画が進んでいるように思われるが、ここに至るまで足並みが崩れているような話を聞いたが、予定通りの建設はできるのか。

今後奈義町とでも相談

答 町長 津山圏域7市町村で広域一部事務組合を立ち上げるという事です。中継基地の設置、又基地から運ぶ費用負担等について議論している。

又資源ごみ、不燃ごみの各処理施設、可燃物の中継搬送施設等、負担金等について又不燃物、資源ごみ、等については今後奈義町と相談し、そうした形の決断を1月中にはする必要があるのではないかと。

ファーマーズマーケットについて

問 運営母体の県の今後の運営の行方はどうなるのか。町長の想いがあればお尋ねしたい。

町なりに適切な対応する必要がある

答 町長 岡山県が重荷になつて維持出来ないものを、町が維持していくことはとても出来ないと思います。民間、公、が

どういう形で介入するか検討して一番いい方法を今後検討しなければならない。一部はどうしても一般の方が自由に入り出る形としての機能も今後運営をしていくため民間等との協議も必要がある。



奈義町にあるリサイクルストックヤード視察



山下行道議員

耕作放棄地の現状と対策は

町長 国の制度を利用して



津山圏域勝央出張所

問 農地は農産物を生産する本来の役割とは別に、自然災害に対する防波堤としての役割もあると思うが、近年各所に耕作放棄地が多く見受けられる。勝央町でも例外でなく、水田はもとより、美作台地においても、また同様であります。

農家の一人として、現状を大変憂いております。何とかこれらの土地を荒廃させないで管理できないか、関係機関と協議して、何らかの方向をみいだしていただきたい。

答 町長 耕作放棄地の関係の質問でございますが、勝央町は早くから圃場整備が出来た関係で、農地の放棄が、近隣の町村に比べますと少ない方だと思っておりますが、

畑が特に美作台地の荒廃が目立っております。

町全体で調べました面積で言いますと、耕作放棄の畑が42・3ヘクタール、水田が38・5ヘクタールあると言うことでございます。

これらはすべて個人の財産、個人の所有でございます。

現在、勝央町では中山地域の直接支払制度を利用されている地区が8地区、農地、水、環境という事業で4地区しかやっておりませんが、自分の財産である農地を、保全管理をきちりして、国や県からお金が幾らかでも貰えるんですから、ぜひこう言う制度を利用していただく以外にないと思います。

圏域消防の施設も勝央町に

問 消防設備は町民皆さんの安心のためにも、一番必要と考える。

安全と安心のためにも、今、町内に施設を残すことができないか。また、別に工業団地に

ある野球場などを、緊急災害時のヘリポートの利用場所として活用できないものか。

東分署と統合して

答 町長 圏域消防の施設を勝央町に言うことですが、今後議論になりますが、現状は消防本部がございまして、その下にいわゆる東分署、西分署、8つの出張所がございまして。

統廃合について、検討委員会で検討がなされましたが、勝央の出張所と東分署を統合して東消防署と検討委員会結果が出まして、それに沿いまして、勝央の出張所は東分署とすることになって大崎の金井の辺りに美咲町北和気へ通じる道路の辺りに土地を算段をして統合といわれています。

現在では、高規格救急自動車、また救急救命士等の配置等をきっちりとした東消防署の方にもすること、住民の安全、安心をするべきだと思っております。

植月 彬 議員

小学校閉校跡地の現状と今後の利用対策は

町長 地元の検討委員会との協議のなかで



問 古吉野小学校と吉野小学校が閉校され、その跡地利用についてそれぞれ地域で検討されていると思うが、その後の利用についての対策はどうか。

現に吉野小学校では学童保育としても利用されている。

その他各種の行事にも利用されていると思うが現状はどうか。

答 町長 建物の管理として総務部で行っているが跡地の利用は地元の検討委員会に検討していただいている。

今ではグラウンドゴルフやサッカーの練習に使われたり、また太極拳にも体育館で利用されたりしている。

町としてホームページに載せて広く呼びかけてもおり、企業から問い合わせもありましたが広さなどから進展はありませんでした。

法人の税収の不足が予想されるが対応はどうか

問 米国の金融危機に発した世界同時不況で、我が国でも大きく景気の落ち込みで、企業各社でも人員の削減などで対応しており、収益も下方修正を強いられている。

当町においても誘致企業の中でもその影響はでてくるものと思う。

そこで来年度予算の減額が予想されるが、見通しと対応はどうか。

非常に厳しいものと考えている

答 町長 100年に一度の金融不安といわれ、全治3年はかかるだろうともいわれています。勝央町の19年度決算実績で交付税以外の税収は17億8,500万円程度で、大きいのは固定資産税で、これはあまり変動にとらわれていません。

ただ税収の落ち込みに対して交付税がふえるのが我が国の仕組みとなっていますが、いずれにしても21年度の予算編成は厳しいものとして臨む必要があるものと考えています。

給食メニューのフランドル化を

問 11月2日金時祭に合わせ、食事メニューのコンクールが行われた。これは町内の産物などを利用したもので各種の材料も豊富でおいしそうでした。

これをその時だけにとどめてないで、今後行われるコンクールの中にもブランド化につながるものがあれば、金時祭に限らず各催し物でPRできないか。

答 町長 今、食育について注目されていますが、まず朝飯を食べましょうという運動を進めており、体のためにも脳のためにも大変必要なことであります。

地産地消の対策で

わが町には多くの農産品があり地産地消の立場からも、農業振興の立場からも、また栄養のバランスからも必要と考えています。

ただ他地区のように一つの食品を名物として取り上げていく考え方もありますが、ブランド化というより栄養委員の方とも相談しながらコンクールなどを通じて育てていきたい。

在宅介護の限界について

問 平成12年に介護医療保険制度が発足して今日に至っている。

その間保険料の値上げや、制度の改善なども行われ、医療費の伸びに伴い在宅介護に移行するよう見直しをされつつあるが、現在在宅での介護の中で老々介護の家庭もふえて、またそれによる悲劇も各地で起きている。勝央町として施設介護を視野にいれた小規模で多機能な施設を将来に巨り検討を進めてはどうか。

採算面と担い手がネックだ

答 町長 勝央町には特養を含めて施設はある程度賄えているのではないかと。ただ小規模多機能な施設は採算面や運営の面で担い手がいないのが現

状であるが、この介護保険制度はお年寄りの面倒をみるひとがご家庭にいない時、法的に介護を行うのが趣旨で、ただご家庭で家族に囲まれての在宅の介護が基本的には望ましい。

しかし仕事の関係からやむを得ず都会での生活をよぎなくされる人も多く、自治体がこうした制度でお年寄りのお世話をしていくようになる。

確かに老夫婦がどちらかの面倒をみざるをえない場合いわゆる老介護の家庭も多くあり、3世代同居の家庭を奨励したいと思う。



閉校された小学校

日笠善勝議員

平成21年度の予算編成は

町長 よく見極めて



問 地球規模の景気後退によっての不況で、財政見通しが困難と考えるが21年度予算の目玉はどうか。

答 この事態のなかで基本的な考え方はどうか。また新規の事業など取り組める状態でもないと思うが、夢がもてるような施策はないか。

町長 非常に頭の痛いことで、政府として雇用対策や景気対策といろんな施策を行うようすが、わが町の町税の大口企業に聞いてもはつきりしたことはわかりません。

いずれにしても今年の予算より1億ぐらいいは減るのではないか。

今後歳入の確保については最大の努力を払いながら、一方で歳出については何が町や町民のために一番必要なのかよく見極めていくことが大事と

思っている。また目玉だと言うような予算は組めないと思っ

農業の現状把握を頼む

問 果樹を含む畑作・水田転作による黒大豆など、特産物とする農業生産の推移に不安はないか。今夏原油の高騰があり農業にどの程度の影響があるのか、また今春から化成

肥料も高騰し農業生産に

国県道の整備を要望で

答 町長 原油の高騰や

果樹の作付け面積自体、

桃・ぶどう・梨などにつ

などの新品種の改良に取り組んでいるようです。成果の程はわかりませんが、耕作地があっても勤め先があれば自然と若者はそちらに目がいき、国は食料自給率をもっと上げた

堀広線の整備計画の実施を

問 中学生の通学、通勤車両、特に単車走行などのことから万全の措置が必要ではないか。

答 町長 現在の経済情

直ぐには手がつかない

現在の経済情

勢の中で一気に歩道の拡幅も直ぐには手がつかない。2次改良となればなかなか難しい。

今後、国が道路財源の一般財源化が進めば、補助金のような形で環境に関する措置としての交付金にでもして財源の分配

改良はできるのではないかと考えている。

しかし当面は学校側に対し生徒に交通ルールを守り1列で通ることへの指導、また旧道の部分のある所は旧道を気をつけて通ることの指導も徹底して欲しい。

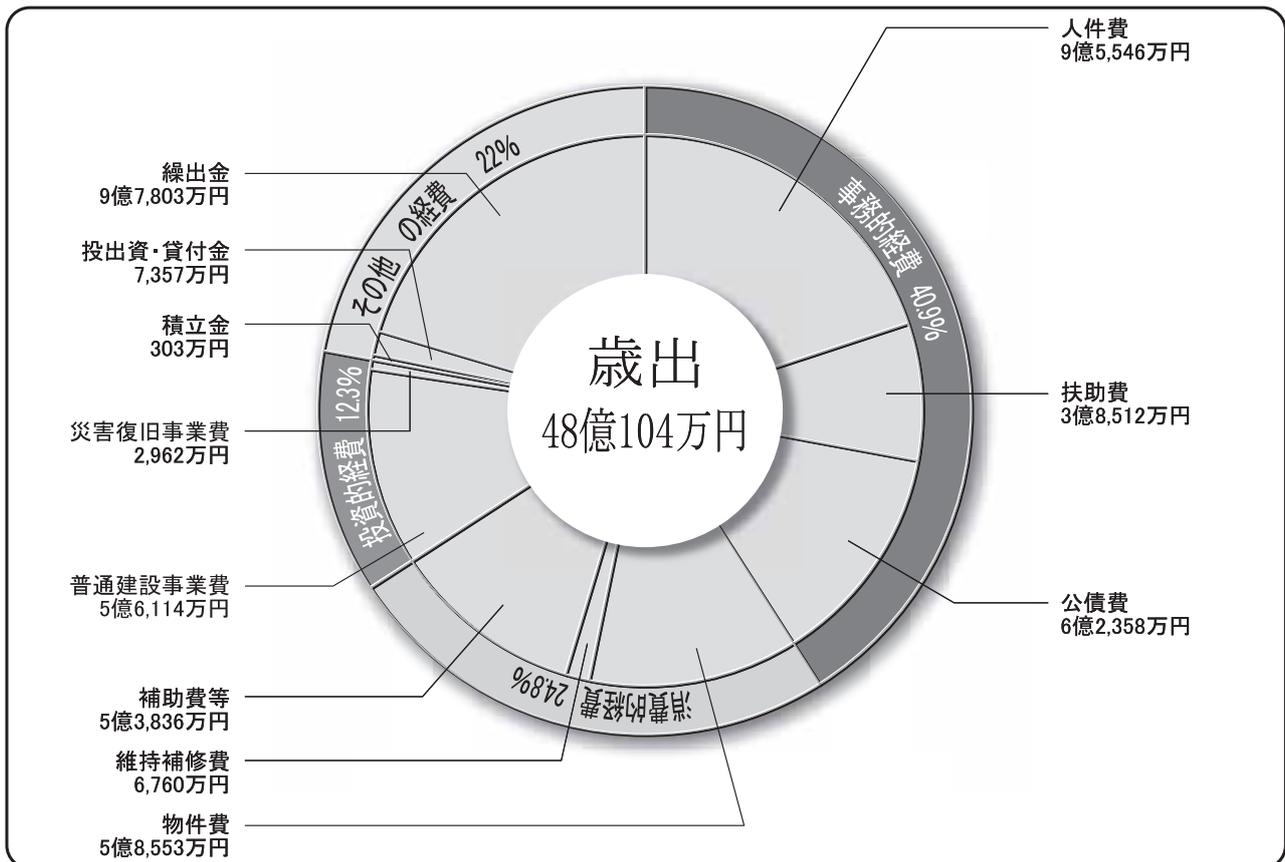
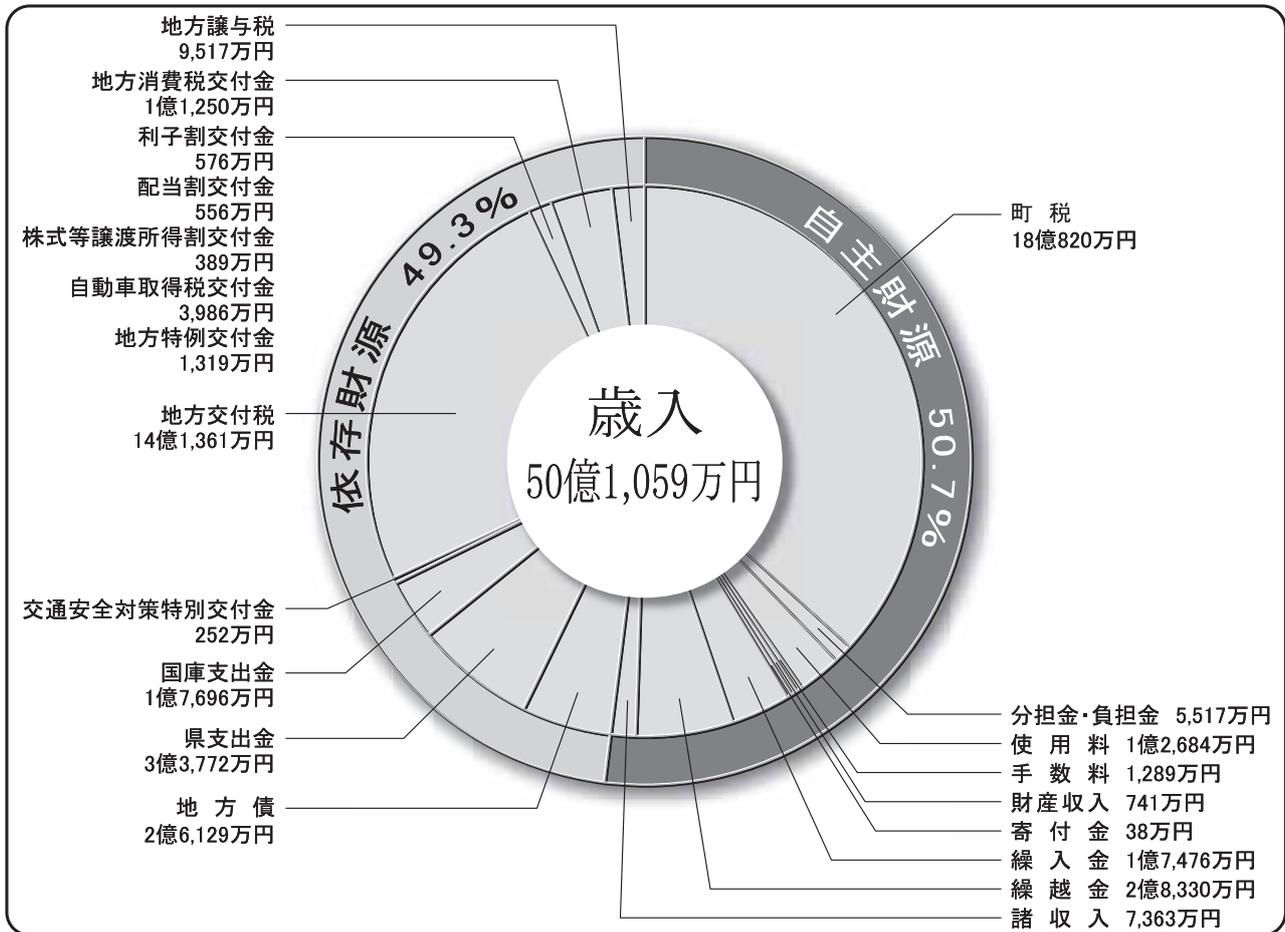


信号も設置された堀広線

平成19年度 決算認定審査報告

普通会計

(単位：万円)



平成19年度 一般会計・特別会計決算額 (単位：万円)

会 計		区 分	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳出差引 (A-B)	翌年度に繰り越すべき財源(D)	実質収支 (C-D)
特別会計	国民健康保険事業勘定特別会計		118,060	113,019	5,042	0	5,042
	公共下水道事業特別会計		139,713	130,055	9,658	1,668	7,990
	農業集落排水事業特別会計		13,840	13,370	471	0	471
	宅地造成事業特別会計		2,770	2,430	339	339	0
	老人保健特別会計		155,370	155,370	0	0	0
	勝田郡介護認定審査会特別会計		325	255	70	0	70
	介護保険特別会計	介護事業勘定	92,699	86,589	6,109	0	6,109
		介護サービス勘定	556	549	8	0	8
	勝田郡障害者地域生活支援事業特別会計		1,586	1,558	28	0	28
	住宅新築資金等貸付事業特別会計		2,061	7,194	△5,133	0	△5,133
特別会計合計			526,981	510,389	16,592	2,008	14,584

平成19年度 勝央町上水道事業会計損益計算書

企業会計	営業利益 (A)	営業外利益 (B)	経常利益 (A+B)(C)	特別利益 (D)	特別損失 (E)	当年度純利益 (C+D-E)
	△2,045	△3,430	△5,474	420	391	△5,445

審査内容要旨

- 一般会計での歳入総額は前年に比べ3・8%の増で歳出総額では5・8%の増となっております。
- 今年度から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による健全化判断比率が公表され4指標とも基準を下回っておりますが、実質公債比率が19・1%で地方債は許可制で移行基準は18%を超えており、公債費負担適正化計画の策定が義務づけられております。
- また将来負担比率においても、県下で2番目に悪い数値となっております。特に慎重な行財政の執行が望まれます。
- 下水道事業において歳入の内4割近くが一般財源からの繰り入れでまかなわれており、下水道料金改定特別委員会で審査されておりませんが、利用者負担の増額がお願いされることとあります。
- 宅地造成事業特別会計で平成19年度で不動産売り払い収入を2億6,887万円計上しておりますが売却できておりません。県では財政が逼迫しているようですが早く売却の調整がとれるよう期待いたします。
- 上水道事業では収納率が95・4%となっておりませんが、岡山県広域水道企業団からの浄水購入は日量12,000トンの契約ですが19年度では日量平均5,541トンで半分以下の水量しか使用されてなく、早急な対策が望まれます。
- 電算業務委託での経費が税務住民部だけでも4,500万円を超えており、業者のいいなりとも受け取られかねないので契約交渉の際には経費の低減のための努力をして欲しい。
- 町営住宅の家賃の滞納も改善の兆しが見えない。不納欠損額を除いても滞納累計が800万円を超え町財政を圧迫する1因にもなりかねずしかるべき対応を望みます。
- 国保会計では収納率がやや改善したが、今後いつ来るともわからない新型インフルエンザ対策へも考慮に入れる必要があると思う。
- 臨時職員の採用については給食調理員や、社会教育部門では公募による選抜採用も必要ではないか。
- 保育料の滞納が依然として多い。累計が約680万円を超えている。保証人をつけるなどもっとしかるべく対応をして欲しい。

ごみ処理施設建設について

勝央町・奈義町議員で

合同会議を開催

(平成21年1月13日(火))

奈義町にある津山圏域東部衛生施設組合のごみ処理場において、現在計画中の津山ブロックごみ処理施設建設について、勝央町と奈義町の議員及び、両町町長により、今後の中間処理施設等について協議を行ないました。

現在進めている、津山ブロックのごみ処理施設建設の計画は、前回の議会だよりでもお知らせしましたが、問題も多くあります。今後の計画策定においては、今ごみ処理を共同で行なっている、勝央町と奈義町だけでも同じ見解に立ち、計画を進めることが必要な事だと思われれます。

今回、両町から6名の代表議員を選出し、奈義町のごみ処理施設等について協議を行なうことになりました。今後、新たな展開がありましたら、随時お知らせしていきたいと思えます。

組合議会報告

◎勝田郡老人福祉施設組合

- ・ 19年度決算認定2件
- ・ 20年度補正2件
- ・ 委員選任同意1件

◎勝英農業共済組合

- ・ 委員選任同意1件
- ・ 条例改正1件
- ・ 19年度補正1件
- ・ 20年度補正3件

◎津山広域事務組合

- ・ 19年度決算認定2件
- ・ 事務職員に関する条例改正4件

◎津山圏域消防組合

- ・ 19年度決算認定1件
- ・ 20年度補正1件
- ・ 職員に関する条例改正2件

◎津山圏域東部衛生施設組合

- ・ 19年度決算認定1件
- ・ 20年度補正1件

◎勝英衛生施設組合

- ・ 20年度補正1件
- ・ 19年度決算認定1件

請願・陳情

陳情書

◎「国外作成歯科補綴物等の安全確保に関する意見書」の採択を求める陳情書

提出者 岡山県保険医協会歯科部会

会長 木村 秀仁

採択

◎「協同労働の協同組合法(仮称)速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情書

提出者 「協同労働の協同組合」法制化をめざす岡山県市民会議設立準備会

片山 幸児

不採択

要望書

◎黒土東地区生活道路拡幅工事に関する要望書

提出者 黒土地区会 会長 竜門 修
採択



拡幅要望のある道路視察

編集後記

100年に一度と言う不況な年で世界中でリストラや企業の縮小などのニュースが飛び交っています。わが町のシンボルでもあるファーマーズマーケットも県の方針で廃止か譲渡の発表がなされ、議会としても特別委員会を設置して対策をねっています。

また今年にはゴミ処理施設を巡って加盟団体に動きもありました。

また国会でも衆議院の総選挙がありどのような結果になるのか、経済界の不況で国家予算の規模はどうか、わが町にどのような影響があるのか、今年が丑年ですがのんびり、ゆっくりと言わねばはいきそうにありません。

どうぞ本年もよろしく
お願いいたします。

広報委員一同